

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2016

5月

No.131



特集 P2・3

善意の預託と社協会費を 6月にご依頼します

今年から
変わります



ひ孫と
いっしょ

山崎町 上ノ下

シリーズ130

うつみ ひでこ
内海 秀子さん(89歳)

いち か
一駕くん(2歳)

うつみ しんたろう
内海 慎太郎さん・麻子さん

■長男



6月1日の「善意の日」啓発活動(一宮南保育所前にて 昭和57年)

募金の依頼について改善を図りました

穴栗市社協では、6月(善意の預託)、8月(社協会費)、10月(赤い羽根共同募金)、12月(歳末たすけあい募金)と年間4回、自治会等を通じて募金や会費をお願いしています。この方法は合併後変わらず行ってきたもので、募金の呼びかけや取りまとめについて自治会役員のみなさまにご協力いただいておりますが、「自治会役員の負担が大きい」「募金回数を減らせないのか」といった声が多く聞かれてきました。このような状況から、理事会、評議員会等で議論を踏まえ、「善意の預託」と「社協会費納入」の依頼を6月の同時期に行うことにし、年間の募金依頼回数を4回から3回とさせていただきました。住民のみなさまにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

善意の預託と社協会費を

6月にご依頼します

今年から
変わります



社協会費は、社協や福祉の広報活動にも活用しています

地域福祉の貴重な財源 善意銀行

6月1日は
『善意の日』

宍粟市社協の 「善意の日」の取り組み

毎年6月1日は、兵庫県内各地で「善意の日」の記念行事が催されます。宍粟市社協では、6月を善意推進月間として、社協広報車やしーたん放送による呼びかけ、善意の日パレード、大型店舗など街頭でのチラシや風船等の配布など、積極的に啓発活動に取り組みます。

また、ボランティアセンターでは、各支部に「ボランティアの日」を設けて、市内の福祉施設や主要な道路の清掃美化活動などに取り組み、広く住民の参加を呼びかけます。

「善意の預託」にご協力ください

宍粟市善意銀行は、社協の管理のもと、ご寄付いただいた金銭や物品等の善意を福祉に結ぶ「善意のかけ橋」として、宍粟の地域福祉の推進のために大きな役割を果たして

平成28年度宍粟市善意銀行の事業計画(予算)

主な事業内容	金額(円)
地域福祉の推進に ・小地域福祉活動・子育て支援活動 ・介護者の会など当事者支援活動 ・支部かわら版の作成 など	5,170,000
社協広報紙の発行に	1,200,000
ボランティア活動の推進に ・ボランティア講座の開催経費 ・ボランティア連絡会とボランティアグループへの助成 など	2,234,000
福祉関係団体(5団体)への助成に	530,000
家屋火災時の見舞金や大規模災害発生時の支援金として	100,000
善意の日の啓発事業および善意銀行運営経費として	166,000
支出合計(予算)	9,400,000

います。

6月の善意推進月間中には、自治会長様を通じて『善意の預託袋』をみなさまのご家庭にお配りします。

今年度もみなさまのあたたかいご持手を善意銀行へお寄せいただきま

すよう、ご協力お願いします。

あなたの会費が 社協を支えます

ご協力をお願いします 1世帯1,000円

皆様の会費でつくる
豊かな地域福祉

社協は住民みなさまを会員として運営しています。世帯を単位として、1世帯あたり千円の会費を納入していただいています。みなさまには大変ご負担をおかけしますが、みなさまの会費が宍粟市の豊かな地域福祉をつくる大きな力となります。

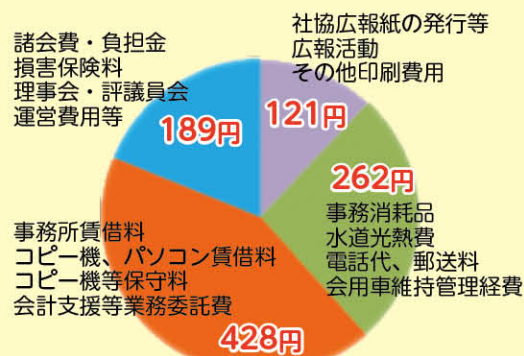
会費は、昨年度の会員台帳に基



昨年度は、10,843世帯のみなさまに、社協会員としてご加入いただきました

づき、各自治会、隣保ごとに集めさせていただきますので、よろしくお願ひします。
(地域支援課 波多野好則)

あなたの会費1,000円は、このように使います
平成28年度宍粟市社協予算より



や

まさき

与位のシンボルこいのぼり

与位老人クラブ

4月25日(月)、与位老人クラブでは、手分けして与位神社掃除や愛宕山山頂整備とこいのぼり設置の作業を行いました。

国道29号線「ながさわ」辺りから見える与位の小高い山頂で泳ぐこいのぼりをご存知ですか？
このこいのぼりは、与位老人クラブが自治会からの依頼で、約20年前から毎年、揚げられています。

「時代の流れから、庭先で見るのが少なくなってきたこいのぼりを、自治会全体が見渡せる絶好な場所に設置して、地域みんなで楽しんでるんや」と、同老人クラブの大井義人会長より伺いました。



山頂まで歩くこと20分。与位を見渡しながらか作業が進み、こいのぼりが雄大に泳ぎました。6月上旬まで楽しめます。(愛宕山山頂:与位)

い

ちのみや

サロンは高齢者の憩いの場

能倉ふれあいサロン

4月17日(日)、能倉公民館でふれあいサロンが開催され、約30人の参加がありました。

姿が印象的でした。このように、楽しく気軽に参加できるサロンは、高齢者の憩いの場となっており、これからも楽しいサロン活動が続くよう、社協職員としてサポートしていきます。

「今日は普段よりたくさんさんの顔が見れてよかった」と、サロンのリーダー(民生委員・児童委員)の畑尾京子さんが。



脳トレで頭と体の運動も(能倉公民館)

や・い・は・ち トピックス

包丁研ぎで「生活支援」

にこにこクラブ

4月20日（水）、波賀で活動する配食ボランティアグループ「にこにこクラブ」がメイプル福祉センターで包丁研ぎを行いました。

この取り組みは、配食サービスの調理ボランティアから「料理に使う包丁が切れにくくなったので研いでもらえないか」との声に応え、同グループ有志が3年前から定期的に行っています。

今回、この包丁研ぎに合わせ、配食サービスを利用のみなさんに「切れない包丁はないですか？」とチラシ等で初めて呼びかけを行いました。



「プロじゃないからあんまり大きい事は言わんとつてよ」
(メイプル福祉センター)

高齢者の日常生活での、ちょっとした困りごとにお応えした今回の包丁研ぎボランティア。普段の活動が声かけひとつで、高齢者の「生活支援」につながった素晴らしい取り組みでした。

(波賀支部 田中祥仁)

お大師さんがつなぐ心の輪

4月21日は「お接待」の日

4月21日は、弘法大師（お大師さん）の命日にあたる、「お接待」の日です。

千種町内のお大師さんを祀るお堂では、毎年地元の方たちによりお接待が行われています。

この日、下河野自治会の12番札所にお邪魔すると、学校を離れた子どもたちがお参りに来ていました。

「ようお参り。雨の中ようきたな」と、お堂の中から声がかかり、子どもたちは、賽銭（さいせん）を入れ手を合わせ、お参りした後にお菓子の接待を受けました。

「昔は、小豆のおにぎりをいっぱいしてたんだよ。普段、出会わん人が来てくれるしな。参ってきてくれるみんなの心があるがたいんや」と、当番の山根キヌエさ



「僕、大きくなったな」
(宍粟新四国八拾八ヶ所第12番札所(下河野))

ん（90歳）から今の気持ちを聞きしました。

「年に一回のこの行事。孫は一年前からお小遣いをためて、ここに来るのを楽しみにしているんですよ」との参拝者の声も聞くことができました。

古くから受け継がれているこの風習は、これからも千種住民の誰にも大切にされ、長く続くように祈っています。

(千種支部 横山洋子)

はが

ちくさ

ボランティア連絡会から

「ボランティアの日」 のお知らせ



6月の善意推進
月間にちなんで、
誰もが参加できる
「ボランティアの
日」を下記の通り
行います。ボラン
ティアの機会がな

いという方も、ぜひ、ご参加ください。

山崎 6月1日(水)9:30～11:30
山崎町内の清掃活動

一宮 6月16日(木)9:30～11:30
まどか園(車椅子の清掃)
はりま自立の家(施設内清掃)

波賀 5月25日(水)10:00～11:30
しろう自立の家(施設内清掃)

千種 6月4日(土)9:00～11:00
千種町内の清掃活動

▲お問合せ:各支部

急募

一宮⇄波賀をつなぐ 配送ボランティア募集

多くのボランティアのみなさまに支えられ独
居高齢者及び高齢者世帯の見守りや安否確認
を目的に実施している本会の配食サービス。

この4月から利用される方々へのサービス内
容の一元化とお弁当の調理全般にかかる時間
短縮・効率化のため、一宮と波賀の調理を一部
合同で行っています。

そこで新たに「一宮⇄波賀」間のお弁当を運
ぶボランティアを募集しています。

活動日 火曜日・金曜日

時間 午前10時30分～11時

活動内容 一宮保健福祉センター(一宮町閭
賀)⇄メイプル福祉センター(波賀
町安賀)のお弁当の運搬

活動回数 月1回、2か月に1回の活動でも
結構です。お申込み時にご相談
ください。

お申込み・お問合せ 波賀支部 75-3631

「こどもホームステイ」を応援する講演会

宍粟で昭和30年から続くこどもホームステイ事業は今年で61年を迎えます。

今後もさらに継続した取り組みになるよう講演会を行い、児童養護施設で生活するこどもたち

の実情や取り巻く環境について学びます。

みなさんぜひご参加ください。

日時: 6月12日(日)
午後1時30分～4時

会場: 一宮保健福祉センター

テーマ

こどもホームステイ事業の今日的意義を確認
し、子育てを取り巻く現状を知る



講師
いとう かよこ
伊藤 嘉余子さん

大阪府立大学
人間社会学部
社会福祉学科准教授

里親家庭に対する支
援のあり方や児童養
護施設について幅広
く研究。

ホストファミリーに なってください!



7月22日(金)～26日(火)の4泊5日

今年も姫路市、たつの市の児童養護施設の
こどもたちが夏休みに宍粟に遊びに来ます。

“あたたかい家庭の雰囲気”を体験できるよ
う、こどもたちの受け入れにご協力いただけ
るご家庭を募集しています。

▲お問合せ:各支部